※2023年11月から県内経済の概況部分を最速で公表しています。
調査月報の全体版は翌月（速報公表後に）ホームページに掲載します。

# 県内経済の基調判断　2025年６月速報

**最近の県内景況をみると、総じて足踏みしている。**

**概　況**

生産は振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。需要面の動きをみると、公共投資は下げ止まりつつある。住宅投資は反動などから大幅に減少している。個人消費は一部に持ち直しの動きもみられるが、総じて弱含んでいる。雇用情勢は持ち直しの動きが足踏みしている。

（参考）県内景況判断の推移

| | | 2025年4月 | 5月 | 6月 |
|---|---|---|---|---|
| 総括判断 | | 総じて足踏みしている **（据え置き）** | 総じて足踏みしている **（据え置き）** | 総じて足踏みしている **（据え置き）** |
| | 生産 | 振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる | 振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる | 振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる |
| | 公共投資 | 弱めの動きとなっている | 下げ止まりつつある | 下げ止まりつつある |
| | 住宅投資 | 弱めの動きとなっている | このところ上振れしているが、基調としては弱めの動きとなっている | 反動などから大幅に減少している |
| | 個人消費 | 総じて弱含んでいる | 一部に持ち直しの動きもみられるが、総じて弱含んでいる | 一部に持ち直しの動きもみられるが、総じて弱含んでいる |
| | 雇用情勢 | 持ち直しの動きが足踏みしている | 持ち直しの動きが足踏みしている | 持ち直しの動きが足踏みしている |

| | 2024年7～9月 | 10～12月 | 2025年1～3月 |
|---|---|---|---|
| 企業の景況感 | 総じて持ち直しているが、一部で弱めの動きがみられる | 総じて持ち直しているが、一部で弱めの動きがみられる | 持ち直しの動きが鈍化し、厳しさがうかがわれるものとなっている |

注）下線は前月（回）からの変更箇所

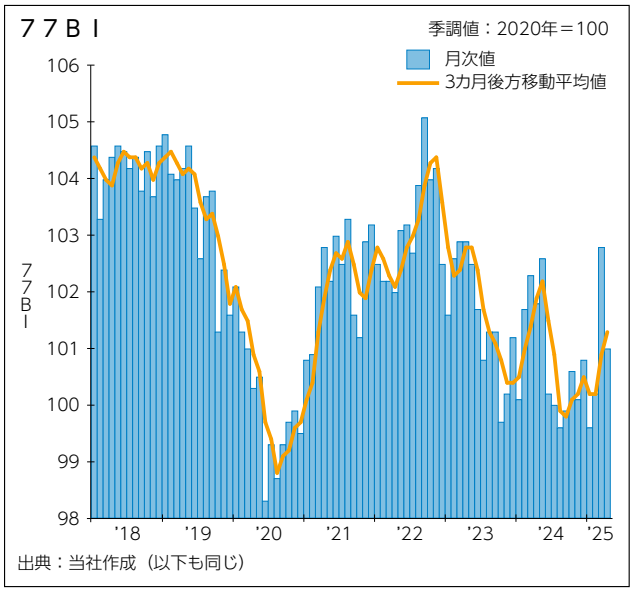
## ７７ＢＩ

**７７ＢＩ（暫定値）は、弱めの動きとなっている。**

4月の**７７ＢＩ**（暫定値）は、前月比1.8ポイント低下の101.0となった。

採用指標別にみると、宮城県消費動向指数、建築物着工床面積、有効求人倍率は前月比低下した。また、3月の鉱工業生産指数は前月比上昇した。

一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比0.4ポイント上昇の101.3となった。



出典：当社作成（以下も同じ）

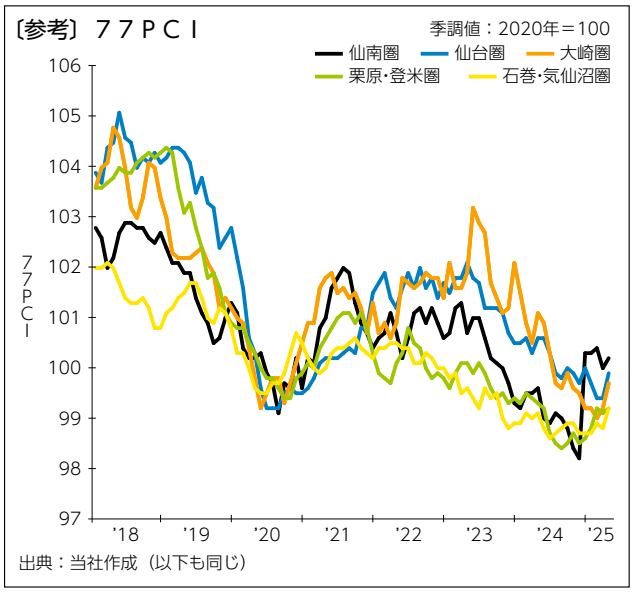
**７７ＢＩ**　（季節調整値、2020年＝100）

| | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|
| ＢＩ値 | 100.2 | 102.8 | 101.0 |
| 鉱工業生産指数 | 105.1 | 114.2 | 114.2 |
| 宮城県消費動向指数 | 100.8 | 103.9 | 90.1 |
| 建築物着工床面積 | 40.2 | 130.8 | 36.3 |
| 有効求人倍率 | 95.5 | 99.5 | 97.1 |

**〔参考〕７７ＰＣＩ**（広域圏別景気指数）
（季節調整値、2020年＝100、前月比：％ポイント）

| | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|
| 仙南圏 | 0.1 | ▲ 0.3 | 0.2 |
| 仙台圏 | ▲ 0.2 | ▲ 0.01 | 0.5 |
| 大崎圏 | ▲ 0.2 | 0.2 | 0.5 |
| 栗原・登米圏 | 0.3 | ▲ 0.1 | 0.1 |
| 石巻・気仙沼圏 | 0.2 | ▲ 0.1 | 0.4 |

※７７ＢＩは、2024年8月公表分より基準年を変更（2020年＝100）し、すべての指数を遡って改訂しました。今後、指数の妥当性の検証等により再度遡って改訂することがありますので、予めご了承ください。



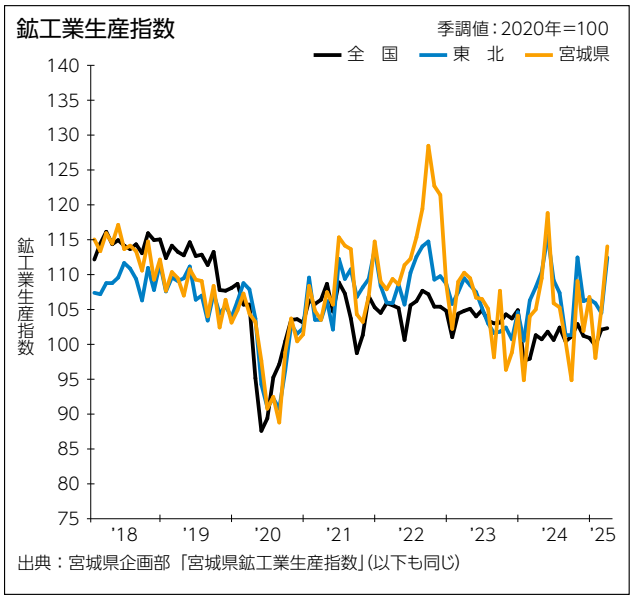
出典：当社作成（以下も同じ）

## 生産動向

**鉱工業生産指数は、振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。**

3月の**鉱工業生産指数**は、前月比8.7％上昇の114.2となった。業種別にみると、汎用･生産用･業務用機械工業が前月比プラスとなったことなどから、前月に引続き前月を上回っている。

一方、前年と比較すると、汎用・生産用・業務用機械工業が前年を上回ったことなどから、全体では前年比8.7％の上昇となり、2カ月ぶりに前年を上回った。



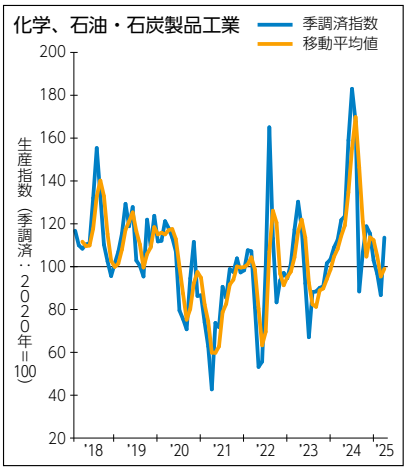
出典：宮城県企画部「宮城県鉱工業生産指数」（以下も同じ）

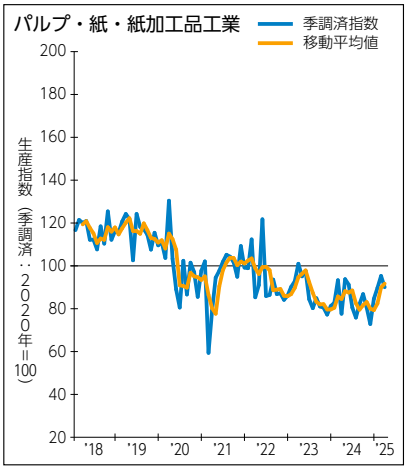
**鉱工業生産指数**　（2020年＝100、季節調整済、前年比：%）

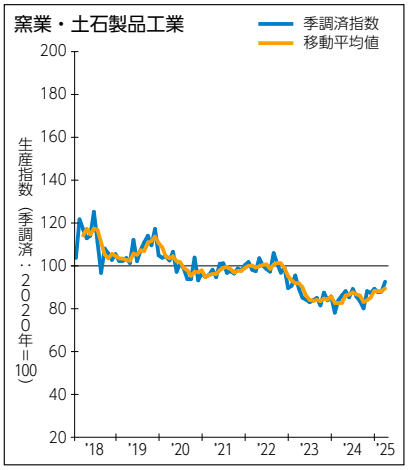
| | 2025年1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|
| 宮城県 | 98.1 | 105.1 | 114.2 |
| （前年比） | 3.4 | ▲ 1.2 | 8.7 |
| 東北 | 106.0 | 104.6 | 112.6 |
| （前年比） | 5.4 | ▲ 2.1 | 3.9 |
| 全国 | 99.9 | 102.2 | 102.4 |
| （前年比） | 2.2 | 0.1 | 1.0 |

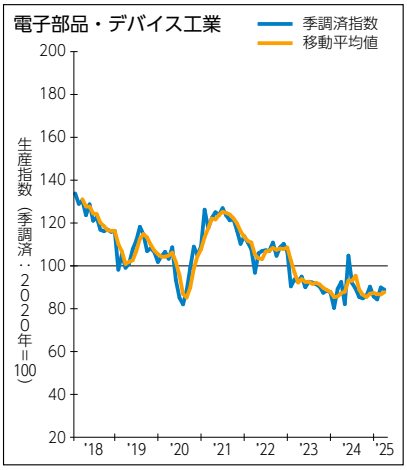
**主要業種別生産動向（宮城県）**　（2020年＝100、季節調整済、前年比：%）

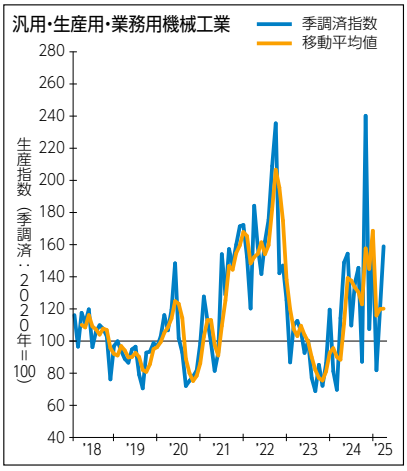
| 業　種 | 2025年1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|
| 化学、石油・石炭製品工業 | 96.7 | 86.7 | 113.6 |
| （前年比） | ▲ 11.4 | ▲ 21.6 | ▲ 6.7 |
| パルプ・紙・紙加工品工業 | 89.7 | 95.3 | 90.0 |
| （前年比） | 8.5 | 0.4 | 16.0 |
| 窯業・土石製品工業 | 87.7 | 88.0 | 92.6 |
| （前年比） | 12.3 | ▲ 2.7 | 7.5 |
| 電子部品・デバイス工業 | 84.3 | 89.9 | 88.9 |
| （前年比） | 5.0 | ▲ 1.8 | ▲ 3.9 |
| 汎用・生産用・業務用機械工業 | 81.7 | 119.7 | 159.0 |
| （前年比） | 0.8 | 52.6 | 39.3 |
| 輸送機械工業 | 136.8 | 130.0 | 131.4 |
| （前年比） | 34.9 | 2.2 | 25.3 |
| 食料品工業 | 120.7 | 116.5 | 123.7 |
| （前年比） | ▲ 0.9 | ▲ 11.5 | 4.3 |

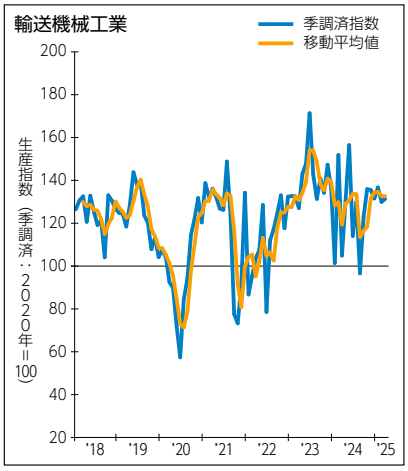


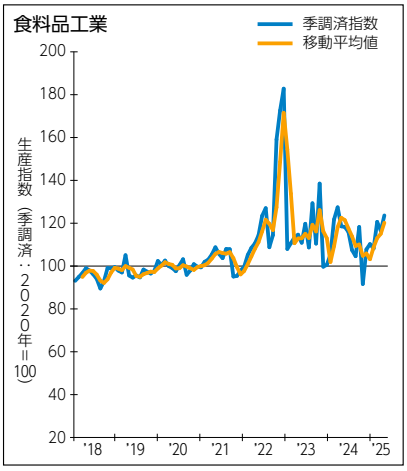



## 建設動向

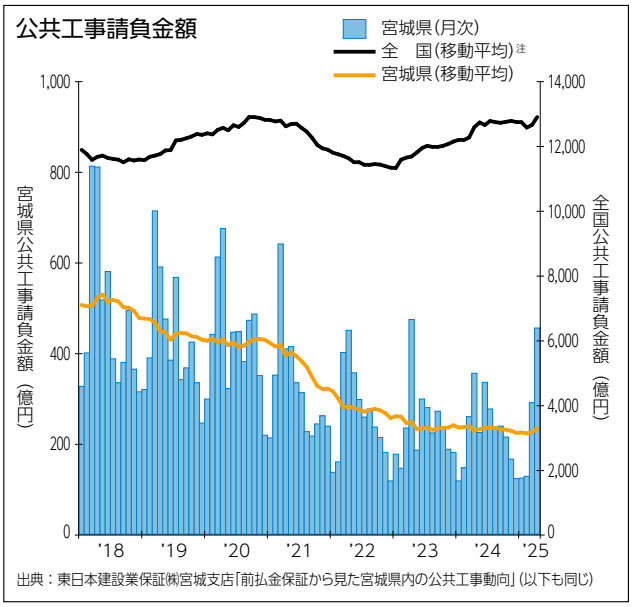
**公共工事請負金額は下げ止まりつつある。住宅着工は反動などから大幅に減少している。建築物着工は持続的な勢いを欠く動きとなっている。**

### 公共工事

4月の**公共工事請負金額**は、前年同月比28.1％増の456億円となり、前月に引続き前年を上回っている。

発注者別にみると、国の機関では、同25.1％増の28億円と前年を上回った。

一方、地方の機関は、県が同8.2％増の157億円、市町村等は同43.8％増の271億円となり、全体で同28.3％増の428億円と前年を上回った。




注）12カ月後方移動平均値、以下のグラフも断りのない限り同じ

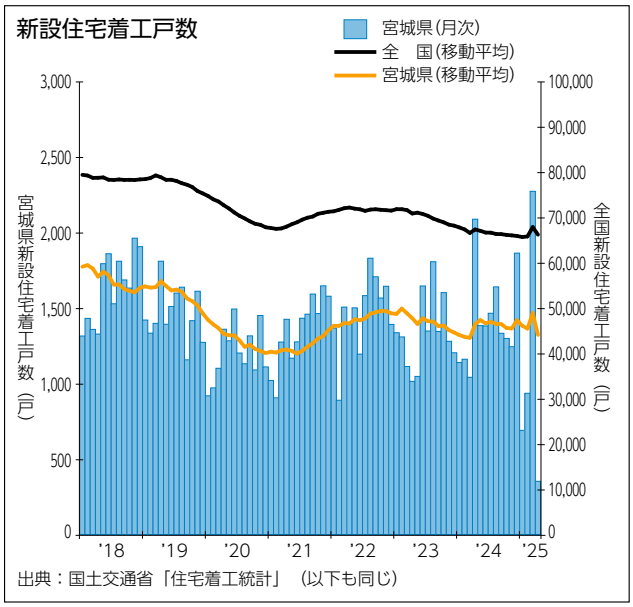
**公共工事請負金額（発注者別）** （前年比、％）

| | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|
| 宮城県 | ▲ 13.3 | 12.1 | 28.1 |
| 国の機関 | 44.6 | ▲ 20.8 | 25.1 |
| 県 | ▲ 27.2 | ▲ 14.4 | 8.2 |
| 市町村等 | ▲ 30.3 | 79.1 | 43.8 |
| 全国 | ▲ 22.5 | 6.0 | 12.0 |

### 住宅建設

4月の**新設住宅着工戸数**は、前年同月比83.1％減の353戸（全国26.6％減、56,188戸）となり、2カ月ぶりに前年を下回った。

利用関係別にみると、持家が同64.7％減（109戸）、貸家が同79.3％減（135戸）、分譲が同90.6％減（106戸）と前年を下回った。




**新設住宅着工戸数（利用関係別）** （前年比、％）

| | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|
| 宮城県 | ▲ 19.4 | 2.2倍 | ▲ 83.1 |
| 持家 | 2.9 | 78.9 | ▲ 64.7 |
| 貸家 | ▲ 31.7 | 2.5倍 | ▲ 79.3 |
| 分譲 | 4.9 | 65.8 | ▲ 90.6 |
| 全国 | 2.4 | 39.1 | ▲ 26.6 |

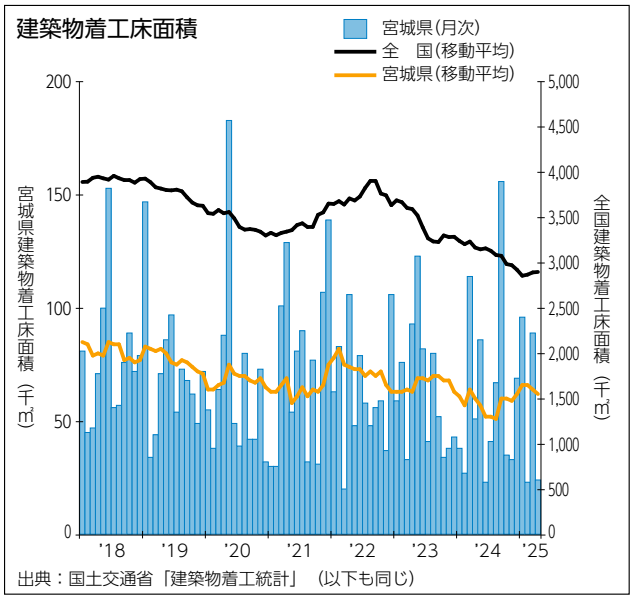
**新設住宅着工戸数（市部・郡部別）** （前年比、％）

| | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|
| 市部 | ▲ 15.3 | 2.3倍 | ▲ 83.6 |
| うち仙台市 | ▲ 10.7 | 2.3倍 | ▲ 87.2 |
| うち仙台市以外 | ▲ 29.4 | 2.2倍 | ▲ 71.1 |
| 郡部 | ▲ 43.0 | 54.9 | ▲ 75.6 |

## 建築物着工

4月の**建築物着工**（民間非居住用）は、床面積が前年同月比54.0％減の24千㎡、工事費予定額は同51.0％減の63億円となり、床面積は3カ月連続して前年を下回っており、工事費予定額は2カ月ぶりに前年を下回った。

使途別に床面積をみると、工場（0.3千㎡：前年同月比99.0％減）、倉庫（2千㎡：同59.5％減）などが前年を下回った。



出典：国土交通省「建築物着工統計」（以下も同じ）

**建築物着工床面積（使途別）**　（前年比、％）

| | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|
| 宮城県 | ▲ 15.2 | ▲ 22.2 | ▲ 54.0 |
| 事務所 | ▲ 24.4 | 3.1倍 | 0.5 |
| 店舗 | 8.1 | 3.7倍 | 3.4倍 |
| 工場 | ▲ 58.9 | 3.3倍 | ▲ 99.0 |
| 倉庫 | ▲ 9.8 | 59.0 | ▲ 59.5 |
| その他 | 39.7 | ▲ 76.7 | ▲ 12.3 |
| 全国 | 5.4 | 10.4 | 1.6 |

**建築物着工工事費予定額（使途別）**　（前年比、％）

| | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|
| 宮城県 | ▲ 5.8 | 47.4 | ▲ 51.0 |
| 事務所 | ▲ 5.3 | 4.1倍 | 34.1 |
| 店舗 | 97.3 | 3.4倍 | 2.5倍 |
| 工場 | ▲ 72.5 | 41.0倍 | ▲ 99.4 |
| 倉庫 | 21.0 | 68.9 | ▲ 57.2 |
| その他 | 2.2倍 | ▲ 66.3 | 26.6 |
| 全国 | 14.9 | 35.7 | 34.8 |

## 消 費 動 向

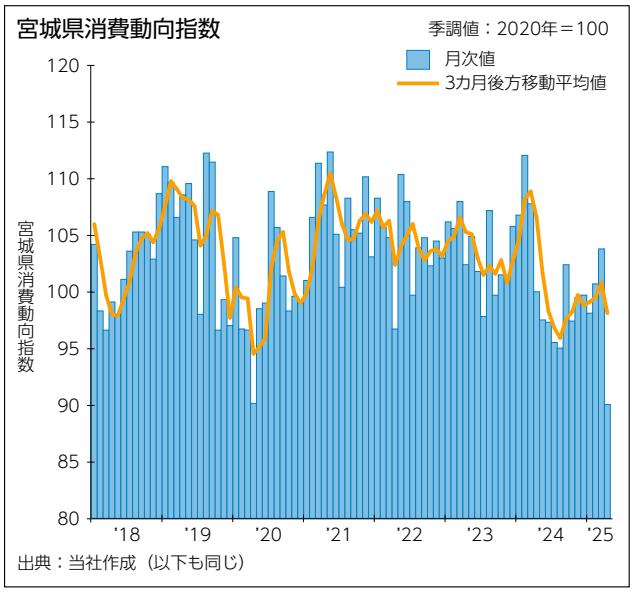
**宮城県消費動向指数、小売業主要業態販売はともに物価高による下押しが強まっている。乗用車新車販売は緩やかに持ち直している。**

## 消費動向指数

4月の**宮城県消費動向指数**は、前月比13.8ポイント低下の90.1となり、3カ月ぶりに低下した。

消費費目別にみると、「家具・家事用品」「教養娯楽」などが低下した。

一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比2.7ポイント低下の98.2となった。



出典：当社作成（以下も同じ）

※消費動向指数は、宮城県内の個人消費動向をより的確に把握するため、総務省「家計調査報告」などを使用して、個人消費動向を需要側から捕捉する指標として、当社が独自に作成した指数。
※消費動向指数は、2024年8月公表分より基準年を変更（2020年＝100）し、すべての指数を遡って改訂しました。今後、指数の妥当性の検証等により再度遡って改訂することがありますので、予めご了承ください。

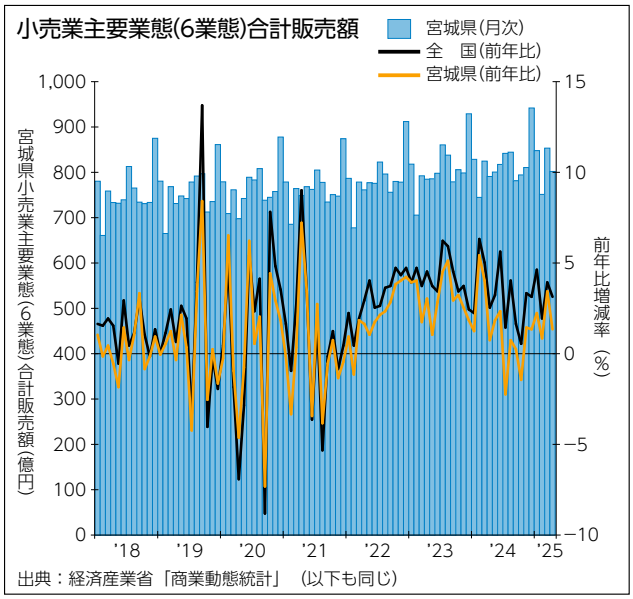
**宮城県消費動向指数**　（季節調整値、2020年＝100）

| | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|
| 消費動向指数 | 100.8 | 103.9 | 90.1 |
| 家賃指数 | 110.1 | 110.1 | 110.0 |
| 乗用車販売指数 | 95.8 | 88.8 | 108.6 |
| コア消費支出指数 | 113.3 | 119.8 | 103.6 |

## 小売業主要業態販売

4月の**小売業主要業態**（6業態）の合計販売額（全店ベース）は、前年同月比1.4％増の806億円（全国3.2％増、4兆3,026億円）となり、6カ月連続して前年を上回っている。

業態別にみると、百貨店・スーパーは同0.7％増の331億円（全国2.7％増）となり、前月に引続き前年を上回っている。コンビニエンスストアは同2.8％増の205億円（全国3.4％増）となり、6カ月連続して前年を上回っている。家電大型専門店は同1.4％減の52億円（全国1.1％増）となり、5カ月ぶりに前年を下回った。ドラッグストアは同4.8％増の157億円（全国6.8％増）となり、49カ月連続して前年を上回っている。ホームセンターは同5.0％減の60億円（全国0.5％減）となり、6カ月ぶりに前年を下回った。



出典：経済産業省「商業動態統計」（以下も同じ）

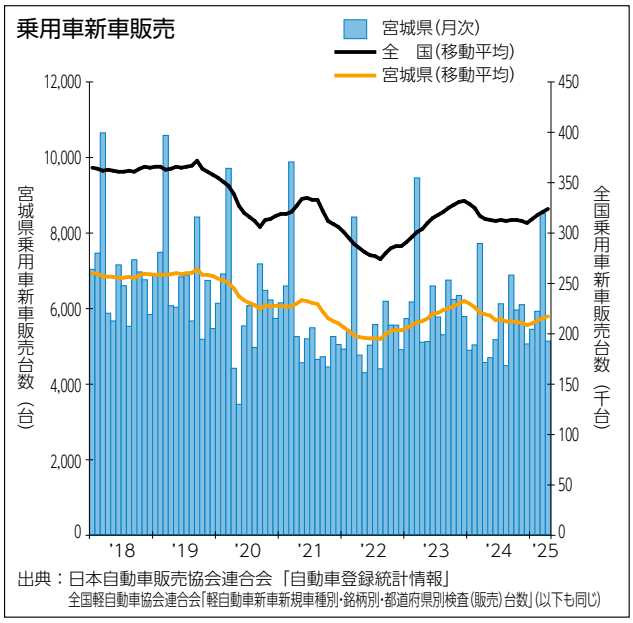
**小売業主要業態販売額**　（前年比、%）

| | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|
| 6業態合計（宮城県） | 0.9 | 3.5 | 1.4 |
| 百貨店・スーパー | ▲ 0.03 | 0.7 | 0.7 |
| コンビニエンスストア | 0.3 | 4.2 | 2.8 |
| 家電大型専門店 | 4.9 | 3.6 | ▲ 1.4 |
| ドラッグストア | 2.3 | 8.6 | 4.8 |
| ホームセンター | 0.3 | 5.1 | ▲ 5.0 |
| 6業態合計（全国） | 2.0 | 4.0 | 3.2 |

注）全店ベース

## 乗用車新車販売

4月の**乗用車新車販売台数**は、前年同月比12.4％増（全国11.0％増）の5,132台となり、4カ月連続して前年を上回っている。車種別にみると、普通車は、同0.05％増（全国1.7％増）の2,131台となり、4カ月連続して前年を上回っている。小型車は、同22.1％増（全国13.7％増）の1,319台となり、4カ月連続して前年を上回っている。また、軽乗用車は、同24.0％増（全国24.5％増）の1,682台となり、4カ月連続して前年を上回っている。



出典：日本自動車販売協会連合会「自動車登録統計情報」
全国軽自動車協会連合会「軽自動車新車新規車種別・銘柄別・都道府県別検査(販売)台数」(以下も同じ)

**乗用車新車販売台数**　（前年比、%）

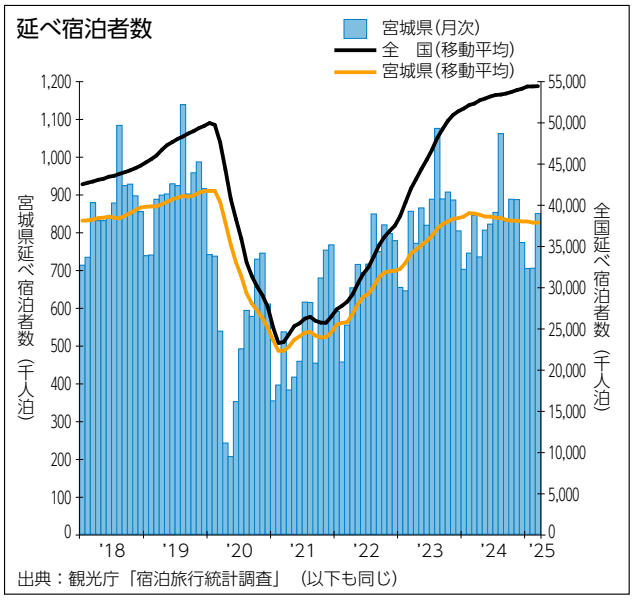
| | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|
| 宮城県 | 17.7 | 10.3 | 12.4 |
| 普通車 | 4.8 | 4.5 | 0.05 |
| 小型車 | 35.0 | 16.2 | 22.1 |
| 軽乗用車 | 22.6 | 15.0 | 24.0 |
| 全国 | 18.9 | 9.5 | 11.0 |

## 観光動向

3月の**延べ宿泊者数**は、前年同月比0.7％増の851千人泊となり、2カ月ぶりに前年を上回った。

居住地別にみると、県内宿泊客は同10.5％減の200千人泊と8カ月連続して前年を下回っており、県外宿泊客は同2.6％増の559千人泊と4カ月ぶりに前年を上回った。

また、外国人の延べ宿泊者数は、同10.1％増の68千人泊となり、32カ月連続して前年を上回っている。



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」（以下も同じ）

**延べ宿泊者数（居住地別）**　（千人泊）

| | 2025年1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|
| 宮城県 | 705 | 706 | 851 |
| うち県内客 | 185 | 180 | 200 |
| うち県外客 | 406 | 414 | 559 |
| うち外国人 | 96 | 99 | 68 |
| 全国 | 48,878 | 47,934 | 55,507 |
| うち外国人 | 15,149 | 13,760 | 14,815 |

**延べ宿泊者数（居住地別）**　（前年比、％）

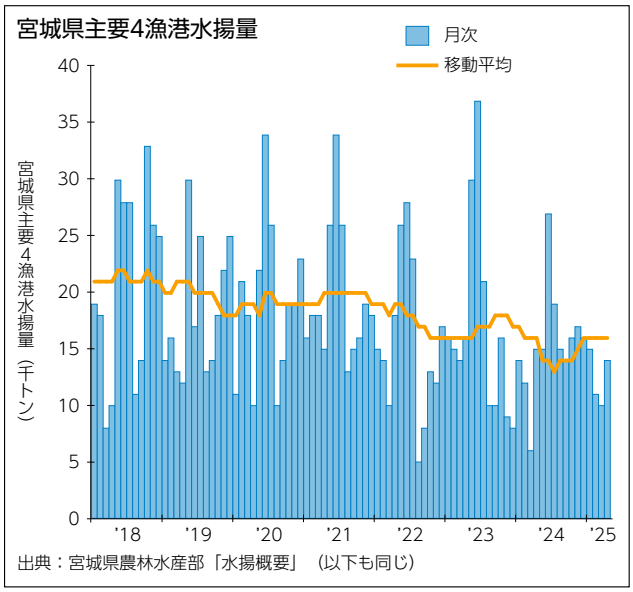
| | 2025年1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|
| 宮城県 | 0.2 | ▲ 5.3 | 0.7 |
| うち県内客 | ▲ 9.1 | ▲ 0.9 | ▲ 10.5 |
| うち県外客 | ▲ 5.1 | ▲ 12.0 | 2.6 |
| うち外国人 | 52.7 | 32.8 | 10.1 |
| 全国 | 7.1 | 0.2 | 0.7 |
| うち外国人 | 34.8 | 19.5 | 14.1 |

## 水産動向

4月の**主要4漁港（塩釜、石巻、気仙沼、女川）における水揚**は、数量が前年同月比6.1％減の14千トン、金額が同13.9％減の31億円となり、数量、金額とも2カ月ぶりに前年を下回った。

魚種別にみると、数量はサバなど、金額はイワシ類などが減少した。

漁港別にみると、数量は全ての漁港が前年を下回った。金額は塩釜が前年を上回ったが、石巻、気仙沼、女川が前年を下回った。



出典：宮城県農林水産部「水揚概要」（以下も同じ）

**主要漁港水揚量**　（前年比、％）

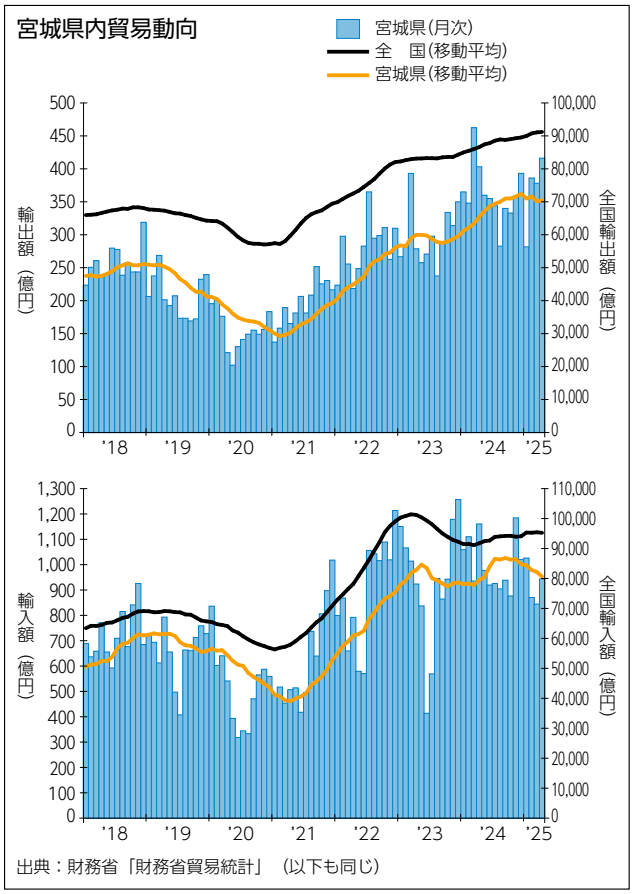
| | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|
| 合計 | ▲ 5.5 | 60.4 | ▲ 6.1 |
| 塩釜 | 0.7 | ▲ 58.2 | ▲ 7.8 |
| 石巻 | ▲ 26.5 | 36.9 | ▲ 1.3 |
| 気仙沼 | ▲ 60.6 | 34.7 | ▲ 14.7 |
| 女川 | 2.4倍 | 3.9倍 | ▲ 11.3 |

**主要漁港水揚金額**　（前年比、％）

| | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|
| 合計 | ▲ 12.0 | 9.6 | ▲ 13.9 |
| 塩釜 | 14.2 | ▲ 21.3 | 40.6 |
| 石巻 | ▲ 20.5 | ▲ 5.0 | ▲ 29.2 |
| 気仙沼 | ▲ 34.4 | 34.8 | ▲ 11.5 |
| 女川 | 33.3 | 2.3倍 | ▲ 50.8 |

## 貿易動向

4月の**貿易額（仙台塩釜、石巻、気仙沼の各港および仙台空港における通関実績）**は、輸出が前年同月比3.2％増の415億円と2カ月ぶりに前年を上回った。輸入が同18.6％減の941億円と5カ月連続して前年を下回っている。



出典：財務省「財務省貿易統計」（以下も同じ）

**輸出額・輸入額**　（前年比、％）

| | | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|---|
| 宮城県 | 輸出 | 11.0 | ▲ 18.1 | 3.2 |
| | 輸入 | ▲ 21.5 | ▲ 9.8 | ▲ 18.6 |
| 全国 | 輸出 | 11.4 | 4.0 | 2.0 |
| | 輸入 | ▲ 0.7 | 1.9 | ▲ 2.2 |

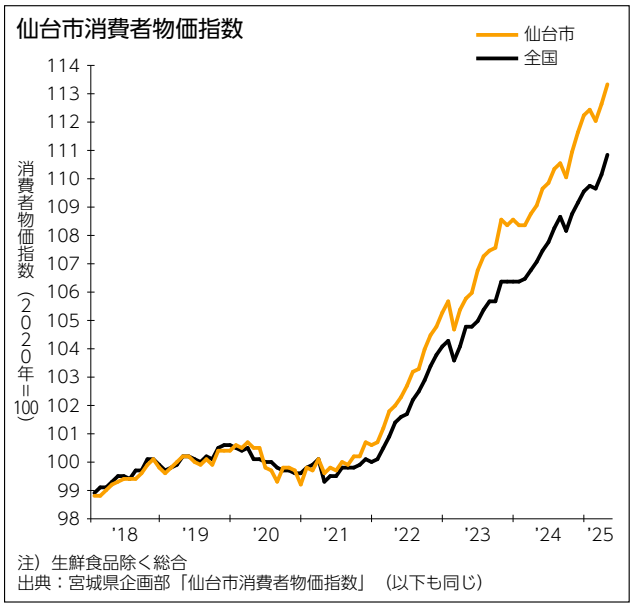
**各港の輸出額・輸入額**　（前年比、％）

| | | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|---|
| 仙台塩釜 | 輸出 | 14.6 | ▲ 18.7 | 4.4 |
| | 輸入 | ▲ 24.2 | ▲ 9.6 | ▲ 19.8 |
| 石巻 | 輸出 | ▲ 58.4 | 61.5 | ▲ 27.3 |
| | 輸入 | 34.0 | ▲ 14.1 | ▲ 1.8 |
| 気仙沼 | 輸出 | 全増 | ▲ 98.9 | 9.0倍 |
| | 輸入 | ▲ 76.2 | 2.4倍 | 5.3倍 |
| 仙台空港 | 輸出 | ▲ 46.9 | ▲ 35.6 | ▲ 40.0 |
| | 輸入 | 全減 | 47.0 | 2.6 |

## 物価動向

4月の**仙台市消費者物価指数**（生鮮食品を除く総合）は、前年同月比3.9％上昇の113.4となり46カ月連続して前年を上回っている。

費目別にみると、「生鮮食品を除く食料」「光熱・水道」などが上昇した。



注）生鮮食品除く総合
出典：宮城県企画部「仙台市消費者物価指数」（以下も同じ）

**消費者物価指数（費目別）**　（前年比、％）

| | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|
| 生鮮食品を除く食料 | 5.7 | 6.4 | 7.2 |
| 住居 | 2.5 | 2.5 | 2.5 |
| 光熱・水道 | 4.5 | 4.7 | 8.0 |
| 家具・家事用品 | 2.9 | 3.2 | 4.7 |
| 被服および履物 | 0.4 | 1.5 | 1.0 |
| 保健医療 | 1.6 | 1.3 | 2.3 |
| 交通・通信 | 3.4 | 2.6 | 2.7 |
| 教育 | 3.3 | 2.7 | ▲ 8.9 |
| 教養娯楽 | 1.2 | 1.3 | 1.8 |
| 諸雑費 | 2.0 | 1.9 | 1.7 |

**消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）**　（前年比、％）

| | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|
| 仙台市 | 3.4 | 3.5 | 3.9 |
| 全国 | 3.0 | 3.2 | 3.5 |

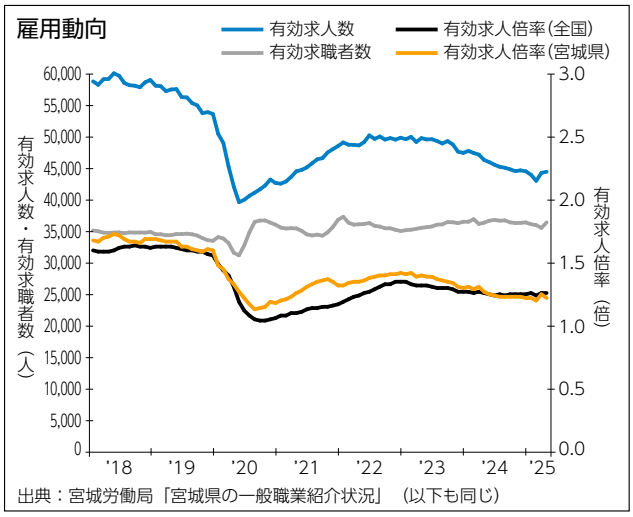
## 雇用動向

**雇用情勢は持ち直しの動きが足踏みしている。**

4月の**有効求人倍率**（季節調整値）は、前月に比べ有効求職者数が増加したことなどから、前月比0.03ポイント低下の1.22倍となった。

また、新規求人数を産業別にみると、前年に比べて卸売業・小売業、サービス業などが減少した。

有効求人倍率（原数値）を職業安定所別にみると、仙台（1.28倍）、石巻（1.27倍）などが1倍を上回っている一方、塩釜（0.67倍）、大河原（0.73倍）などは1倍を下回っている。



出典：宮城労働局「宮城県の一般職業紹介状況」（以下も同じ）

**有効求人倍率等**　（倍、%）

| | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|
| 有効求人倍率(宮城県) | 1.20 | 1.25 | 1.22 |
| (全　国) | 1.24 | 1.26 | 1.26 |
| 新規求人数(前年比)(宮城県) | ▲ 11.2 | ▲ 1.7 | ▲ 0.2 |

注）有効求人倍率は季節調整値、新規求人数は原数値

**職業安定所別有効求人倍率**　（原数値、倍）

| | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|
| 気仙沼 | 1.17 | 1.11 | 1.06 |
| 石巻 | 1.53 | 1.50 | 1.27 |
| 塩釜 | 0.80 | 0.73 | 0.67 |
| 仙台 | 1.45 | 1.44 | 1.28 |
| 大和 | 1.45 | 1.38 | 1.26 |
| 古川 | 0.99 | 1.01 | 0.94 |
| 築館 | 1.53 | 1.42 | 1.26 |
| 迫 | 0.90 | 0.84 | 0.75 |
| 大河原 | 0.89 | 0.87 | 0.73 |
| 白石 | 1.23 | 1.17 | 1.12 |

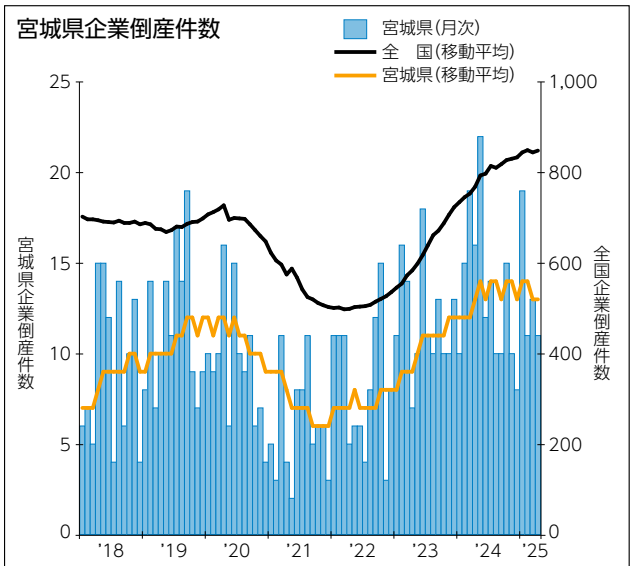
## 倒産動向

4月の**企業倒産**（負債総額1千万円以上）は、件数では前年同月比31.3%減の11件、負債額では同84.7%減の4億円となった。

倒産企業を業種別にみると、運輸業が3件、農・林・漁・鉱業、小売業、サービス業他が各２件などとなっている。

主因別では、販売不振が8件などとなっている。

地域別では、仙台市が5件、名取市が2件などとなっている。



出典：㈱東京商工リサーチ「倒産月報(宮城県企業倒産状況)」（以下も同じ）

**企業倒産件数・負債額**　（件、百万円）

| | | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|---|
| 宮城県 | 件　数 | 11 | 13 | 11 |
| | 負債額 | 1,434 | 853 | 398 |
| 全　国 | 件　数 | 764 | 853 | 828 |
| | 負債額 | 171,277 | 98,586 | 102,802 |

**企業倒産件数・負債額**　（前年比、%）

| | | 2025年2月 | 3月 | 4月 |
|---|---|---|---|---|
| 宮城県 | 件　数 | ▲ 26.7 | ▲ 31.6 | ▲ 31.3 |
| | 負債額 | ▲ 51.9 | ▲ 68.9 | ▲ 84.7 |
| 全　国 | 件　数 | 7.3 | ▲ 5.8 | 5.7 |
| | 負債額 | 22.7 | ▲ 30.7 | ▲ 9.4 |

## 人口動向

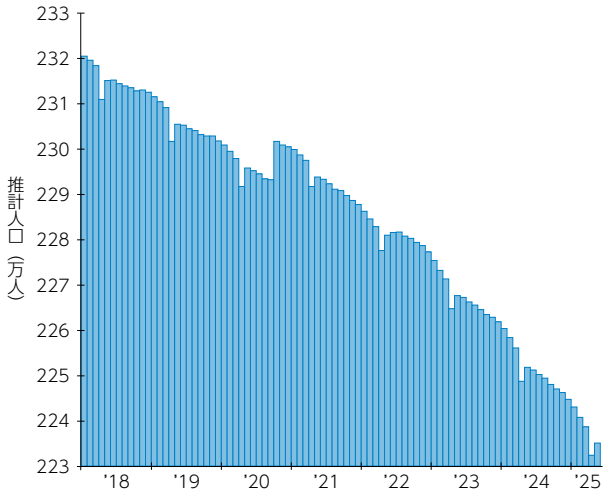
5月1日時点の宮城県の**人口（推計人口）**は、前年同月比16,763人減の223万5,104人となり、49カ月連続して前年を下回っている。

市町村別にみると、前年に比べて人口が増加したのは、利府町（47人増）、富谷市（44人増）の2市町、減少したのは石巻市（2,180人減）、大崎市（1,829人減）など33市町村となっている。

人口動態別にみると、ここ1年間で自然増減は1万7,743人減、社会増減は980人増となった。

また、前月比では、自然増減は1,349人減、社会増減は4,009人増となり、社会増減を市町村別にみると、仙台市（3,499人増）、多賀城市（427人増）など15市町が増加し、気仙沼市（52人減）、南三陸町（46人減）など19市町村が減少した。

宮城県人口動向




出典：宮城県企画部「宮城県推計人口」（以下も同じ）

**宮城県人口**　（人）

| | 2025年3月 | 4月 | 5月 |
|---|---|---|---|
| 総人口 | 2,238,739 | 2,232,444 | 2,235,104 |
| 自然増減 | ▲ 1,690 | ▲ 1,605 | ▲ 1,349 |
| 社会増減 | ▲ 330 | ▲ 4,690 | 4,009 |

注）総人口は各月１日時点、自然・社会増減は前月中の増減数

**宮城県内市町村の人口動向（推計人口）**　（人、%）

| | 2025年5月 | 前年比 | | 前月比 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 増減数 | 増減率 | 自然増減数 | 社会増減数 |
| 宮城県 | 2,235,104 | ▲ 16,763 | ▲ 0.7 | ▲ 1,349 | 4,009 |
| 仙台市 | 1,094,395 | ▲ 1,696 | ▲ 0.2 | ▲ 370 | 3,499 |
| 石巻市 | 130,343 | ▲ 2,180 | ▲ 1.6 | ▲ 120 | 39 |
| 塩釜市 | 50,096 | ▲ 406 | ▲ 0.8 | ▲ 45 | 6 |
| 気仙沼市 | 55,105 | ▲ 1,344 | ▲ 2.4 | ▲ 76 | ▲ 52 |
| 白石市 | 29,846 | ▲ 602 | ▲ 2.0 | ▲ 42 | ▲ 41 |
| 名取市 | 78,951 | ▲ 35 | ▲ 0.04 | ▲ 34 | 90 |
| 角田市 | 25,878 | ▲ 483 | ▲ 1.8 | ▲ 34 | 9 |
| 多賀城市 | 62,268 | ▲ 266 | ▲ 0.4 | ▲ 30 | 427 |
| 岩沼市 | 43,036 | ▲ 436 | ▲ 1.0 | ▲ 9 | ▲ 9 |
| 登米市 | 69,748 | ▲ 1,378 | ▲ 1.9 | ▲ 92 | ▲ 34 |
| 栗原市 | 58,383 | ▲ 1,356 | ▲ 2.3 | ▲ 81 | 19 |
| 東松島市 | 37,142 | ▲ 517 | ▲ 1.4 | ▲ 25 | ▲ 19 |
| 大崎市 | 119,934 | ▲ 1,829 | ▲ 1.5 | ▲ 76 | ▲ 43 |
| 富谷市 | 51,547 | 44 | 0.1 | ▲ 11 | ▲ 21 |
| 蔵王町 | 10,519 | ▲ 180 | ▲ 1.7 | ▲ 11 | ▲ 8 |
| 七ヶ宿町 | 1,126 | ▲ 38 | ▲ 3.3 | ▲ 2 | 4 |
| 大河原町 | 23,209 | ▲ 212 | ▲ 0.9 | ▲ 14 | 33 |
| 村田町 | 9,785 | ▲ 223 | ▲ 2.2 | ▲ 16 | 13 |
| 柴田町 | 36,889 | ▲ 345 | ▲ 0.9 | ▲ 25 | 58 |
| 川崎町 | 7,558 | ▲ 222 | ▲ 2.9 | ▲ 13 | ▲ 13 |
| 丸森町 | 10,673 | ▲ 348 | ▲ 3.2 | ▲ 21 | ▲ 5 |
| 亘理町 | 32,259 | ▲ 302 | ▲ 0.9 | ▲ 4 | ▲ 8 |
| 山元町 | 11,351 | ▲ 133 | ▲ 1.2 | ▲ 14 | 0 |
| 松島町 | 12,446 | ▲ 162 | ▲ 1.3 | ▲ 20 | 30 |
| 七ヶ浜町 | 17,045 | ▲ 330 | ▲ 1.9 | ▲ 18 | ▲ 17 |
| 利府町 | 34,998 | 47 | 0.1 | ▲ 22 | 61 |
| 大和町 | 28,398 | ▲ 40 | ▲ 0.1 | ▲ 3 | 44 |
| 大郷町 | 7,273 | ▲ 108 | ▲ 1.5 | ▲ 8 | ▲ 10 |
| 大衡村 | 5,435 | ▲ 41 | ▲ 0.7 | ▲ 7 | ▲ 2 |
| 色麻町 | 6,063 | ▲ 159 | ▲ 2.6 | ▲ 2 | ▲ 3 |
| 加美町 | 20,029 | ▲ 439 | ▲ 2.1 | ▲ 30 | ▲ 2 |
| 涌谷町 | 13,890 | ▲ 323 | ▲ 2.3 | ▲ 12 | ▲ 18 |
| 美里町 | 22,444 | ▲ 343 | ▲ 1.5 | ▲ 24 | ▲ 2 |
| 女川町 | 5,957 | ▲ 63 | ▲ 1.0 | ▲ 11 | 30 |
| 南三陸町 | 11,085 | ▲ 315 | ▲ 2.8 | ▲ 27 | ▲ 46 |

※「推計人口」とは、国勢調査人口をベースとして、住民基本台帳法に基づき届出等があった出生・死亡、転入・転出の数（日本人のほか外国人も含む）を加減して算出した人口（推計人口は各月１日時点）
自然増減数＝出生者数－死亡者数　　社会増減数＝転入者数－転出者数